



EIRIS  
Electronics-Inspired  
Interdisciplinary  
Research Institute

令和元年度 エレクトロニクス先端融合研究所 シンポジウム

# 人間を超える, センシングで超える

日時 **2020.2.26** 水 13:00-18:00 (12:30~受付開始)

会場 **穂の国とよはし劇場PLAT アートスペース**

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所は、2010年10月に設立された本学初の研究所であり、技術科学の探求と応用、すなわち、スマートセンシングやフォトンクス情報デバイスなどエレクトロニクス革新技術の研究と先端的応用分野(ロボティクス、情報通信、ライフサイエンス、農業工学、環境、防災など)との融合研究を発展させることを目的とした研究拠点です。

2019年4月に、これまでの2つの研究領域から5つの研究分野に拡充した研究体制で、新たな研究開発を行う異分野融合研究拠点として、スタートしております。

そこで、この新たな新体制をスタートするにあたり、令和元年度エレクトロニクス先端融合研究所シンポジウム「人間を超える, センシングで超える」と題し、第一線でご活躍の先生方による招待講演、並びに、関連の深い EIRIS プロジェクト研究成果を中心とした研究成果報告会を開催することとなりました。なお、会場においては、ポスター発表による成果報告も行い、研究者とのディスカッションを行える場もご提供いたします。

- PROGRAM**
- 13:00 開会挨拶 大西隆 学長
  - 13:05 開催趣旨及びエレクトロニクス先端融合研究所紹介 澤田和明 所長
  - 13:15 **招待講演Ⅰ 「自在化する身体」**  
稲見 昌彦 教授 東京大学 先端科学技術研究センター
  - 14:05 **特別講演Ⅰ 「バーチャルリアリティで変わるころとからだ」**  
北崎 充晃 教授 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系
  - 14:20 **招待講演Ⅱ 「スマート農業の展開:農業データ連携基盤(WAGRI)とスマートフードチェーン」**  
神成 淳司 教授 慶應義塾大学 環境情報学部
  - 15:10 休憩 & ポスターセッション(EIRISプロジェクト成果報告)
  - 15:50 **特別講演Ⅱ 「高精度植物生体情報計測技術が農業生産を変える」**  
高山 弘太郎 教授 豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所
  - 16:05 **招待講演Ⅲ 「光電子デバイスによる生体機能の計測と制御」**  
太田 淳 教授 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域
  - 16:55 **招待講演Ⅳ 「人工視覚の研究開発:実用化への歩みと将来展望」**  
寺澤 靖雄 所長 株式会社ニテック 研究開発本部人工視覚研究所
  - 17:45 EIRIS 関係イベント案内(EIRIS 研究会, IC 講習会など)
  - 17:50 閉会挨拶 寺嶋 一彦 理事・副学長

主催: 豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所

定員: 200名 (先着順)

申込〆切: 2020年2月19日 (水)

**入場無料**  
《事前申込制》

座席数に限りがありますので、受講を希望される方は裏面に記載の方法でお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

## ■ 豊橋駅からのアクセス



技術を究め、技術を創る  
国立大学法人  
**豊橋技術科学大学**

# 登壇者 PROFILE



## 「自在化する身体」

東京大学  
先端科学技術研究センター

稲見 昌彦 教授

博士(工学)。東京大学助手、電気通信大学講師・助教授・教授、マサチューセッツ工科大学コンピューター科学・人工知能研究所客員科学者、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授等を経て2016年より現職。

自在化技術、Augmented Human、エンタテインメント工学に興味を持つ。光学迷彩、触覚拡張装置、動体視力増強装置など、人の感覚・知覚に関わるデバイスを各種開発。米TIME誌Coolest Invention of the Year、文部科学大臣表彰若手科学者賞などを受賞。超人スポーツ協会発起人・共同代表。VRコンソーシアム理事。



## 「バーチャルリアリティで変わる こころとからだ」

豊橋技術科学大学 情報・知能工学系

北崎 充晃 教授

博士(学術)。東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室助手、豊橋技術科学大学工学部講師、助教授、准教授を経て、現在は、同大学大学院工学研究科情報・知能工学系教授。

バーチャルリアリティと心理学の融合研究に従事し、身体性認知、未来の身体と心の可塑性、人々でない対象に対する共感や同情・潜在的社会的性について研究を行っている。



## 「スマート農業の展開：農業データ連携基盤 (WAGRI)とスマートフードチェーン」

慶應義塾大学 環境情報学部

神成 淳司 教授

IAMAS(岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー)助手、同 講師等を経て、慶應義塾大学着任。現在、同大学 環境情報学部 教授(現在に至る)、この他、内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室長代理 / 副政府CIO(併任。現在に至る)、国立研究開発法人 農研機構 農業情報連携統括監(併任。現在に至る)を務める。また、内閣府 AI戦略実行会議委員として、我が国全体のAI戦略の策定と推進に携わる。

専門：情報科学(産業応用、知識情報科学)、情報政策、農業情報科学、AI農業、サービスサイエンス。



## 「高精度植物生体情報計測技術が 農業生産を変える」

豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所

高山 弘太郎 教授

博士(農学)東京大学 愛媛大学大学院農学研究科 教授、豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター特任教授を経て、同大学エレクトロニクス先端融合研究所 教授(現在に至る)

植物工場等の施設生産の高度化のための植物生体情報計測技術の研究開発に従事し、2017年10月より、農林水産省 委託プロジェクト 人工知能未来農業創造プロジェクト「AIを活用した栽培・労務管理の最適化技術の開発」の研究代表者を務める。

日本学術会議 連携会員・若手アカデミー会員(イノベーションに向けた社会連携分科会委員長)、日本生物環境工学会理事・理事長補佐、生態工学会理事・編集幹事、農業情報学会 理事・副編集長  
専門：植物診断計測工学、生物環境工学、農業情報システム学



## 「光電子デバイスによる生体機能の 計測と制御」

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域

太田 淳 教授

1992年 博士(工学)(東京大学)授与、三菱電機(株)入社 中央研究所配属、米コロラド大学光電子コンピューティングシステムセンター客員研究員、奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科助教授を経て、同 教授 現在に至る。

【受賞】電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ賞、応用物理学会光電子集積技術業績賞(林蔵雄賞)、映像情報メディア学会丹羽高柳賞論文賞、電子情報通信学会論文賞、全国発明表彰発明賞、市村産業賞貢献賞など。

【研究分野】

電子工学分野と医療バイオ分野との融合領域、特にイメージセンサデバイスの生体応用分野、具体的には、人工視覚デバイス、脳内埋植型イメージングデバイス、コンタクト型CMOS蛍光検出デバイスなど。



## 「人工視覚の研究開発： 実用化への歩みと将来展望」

株式会社ニデック 研究開発本部人工視覚研究所

寺澤 靖雄 所長

1998年 東北大学大学院情報科学研究科 博士前期課程修了(修士)。

株式会社野村総合研究所、名古屋大学大学院工学研究科を経て、

2001年 株式会社ニデック入社、人工視覚に関する研究開発に従事。

2009年 奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 博士後期課程修了(博士)。

2016年より現職。神経刺激用電極、微細機械加工、およびこれらを用いた埋植型電子デバイスに関する研究開発に従事。

(敬称略)

## 令和元年度 エレクトロニクス先端融合研究所 シンポジウム

お申し込みは、ホームページ、E-mail または FAX で。

URL [https://www.tut.ac.jp/survey/form/eiiris\\_sympo/](https://www.tut.ac.jp/survey/form/eiiris_sympo/)

E-mail [event-office@eiiris.tut.ac.jp](mailto:event-office@eiiris.tut.ac.jp)

FAX 0532-44-6974

申込期限

2020年2月19日(水)

お問い合わせ先

国立大学法人豊橋技術科学大学 研究支援課センター支援係

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1

☎ 0532-44-6574

FAXでのお申し込み用紙 必要事項ご記入の上、右記番号まで FAX してください。

**FAX 0532-44-6974**

ご氏名(フリガナ)	ご連絡先電話番号
	FAX 番号 / e-mail アドレス
ご所属・職名	